

印旛地区教育研究会

生活指導研究部

研究主題

児童一人一人が自分の成長に気付くと共に、互いに支え合い、高め合う学級集団作りを目指して

1 主題設定の理由

- (1) はじめに
- (2) 学校の実態
- (3) 学級の実態

2 実践内容

- 1 学級通信
- 2 交換日記
- 3 飯嶋ミッション
- 4 月末の生活振り返りシート
- 5 学級会
- 6 サイコロトーク
- 7 群読 暗誦

3 これまでの実践を通して

4 研究仮説

研究主題

児童一人一人が自分の成長に気付くと共に、互いに支え合い、高め合う学級集団作りを目指して

1. 主題設定の理由

(1) はじめに

学習指導要領の改訂にあたり、キーワードとなっていることは「主体的・対話的で深い学び」である。それらは、各教科の中だけでなく、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事など学校生活全体で経験させていかなくてはならない。学校は、まさに社会の縮図であり、児童にとって一番身近な社会である。そして、学校生活そのものを教育の対象としているのが特別活動である。それらの体験や経験が大人になっても忘れられない思い出となり、今後の生活の基盤となっていくのである。特別活動における「主体的な学び」とは、学校や学級の実態、自己の現状に則して自ら課題を見出し、解決方法を実践したり振り返ったりしながら、生活をより良くしようとしていくことである。「対話的な学び」とは、生活上の課題を解決するために合意形成を図ったり、意思決定をしたりする話し合いの中で様々な意見に触れ、考えを広げたり、多面的・多角的に考えたりすることである。「深い学び」とは、集団や社会の形成者としての見方や考え方を働かせながら、問題の発見、課題の設定から振り返りまでの一連の活動を繰り返す中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的に生かし、知識・技能などを集団及び自己の問題の解決に活用していくことである。これらの「学び」を通して、人間関係形成・社会参画・自己実現の資質・能力を育成していかなくてはならない。

特に、学級活動は、よりよい生活を目指して一つの課題について話し合ったり、行事の際には目標をもってみんなで取り組んで行ったりと、人と人が関わり合う最も身近で最適な場であると言える。しかし、初めから質の高い話し合いが出来るわけではなく、良好な人間関係が必要不可欠である。そのためには、子供同士の信頼関係作りが最重要課題であると考えられる。

(2) 学校の実態

本校は1872年(明治5年)に石川村小学校として創立し、1897年(昭和22年)に根郷小学校と改称された、歴史と伝統のある学校である。親子3世代で根郷小に通っているという児童も少なくない。地域の方は本校の教育活動に大変協力的であり、毎日の見回り活動、学習支援、学校環境整備など様々な場面で地域人材を活用している。また、本校の学区はとても広く、バス通学をする児童もいる。そして、安全確保のため毎日集団下校を行っている。その際にも、下校時パトロールとして数多くの地域の方が児童を見守ってくれている。さらに、小中連携の生徒指導会議や、地域の方も交えた安全確保対策会議なども定期的に行われ、学校の情報を積極的に発信し、また地域からの情報も受け止めている。そのように、地域とのつながりが深い学校であると考えられる。

本校には、「根郷子ども宣言」という、子ども達が目指すべき理想の価値があり、児童はそれを目指し日々努力している。内容は以下の通りである。

- 一つ、私は正直にします
- 一つ、私は我慢強くします
- 一つ、私はみんなと協力します



- 一つ、私は質素を重んじます
- 一つ、私は礼儀正しくします
- 一つ、私たちは進取の心で取り組みます

これを全校児童が暗誦し、全ての学校生活の基盤としている。

また、教師はこれらを生活指導の軸として、児童の指導を行う際にはこの6つの項目に立ち返るようにしている。

そして、校長は校長通信や毎月初めの全校集会、校内放送を通して学校運営や指導の方針について職員や児童に適宜発信している。また、生徒指導案件には校長自ら児童の指導とフォローを行い、その後の経過観察も積極的に行っている。そのリーダーシップのもと、学年指導方針を話し合い、学級経営を行うことができている。組織だって学級指導・生徒指導を行うことで、職員は安心して職務に専念することができる。

(3) 学級の実態

本学級は、6年生28名(男子15名、女子13名)で構成されている。毎年学級編成があるため、新年度は友達関係も一新された状態である。

本学級の児童は穏やかで優しく、素直な児童が多い。日頃から学校や学級の約束を守ろうとする意識が高く、指導をしたときには素直に聞き入れ、すぐに改善しようとしている。また、教師の指示をしっかりと聞き、「〇〇しよう。」と投げかけたことに対して一生懸命取り組んでくれる。特に調べ学習や、ノートには大変意欲的で、とても集中して取り組むことができる。集団生活の中では、自分の思いを通そうとするのではなく、譲り合いながら生活している。また、困っている友達がいると、側に寄り添って悩みを聞いてあげたり、解決方法を一緒に考えてあげたりしている。

その反面、力強さや積極性、自主性に欠ける。朝の挨拶や日頃の返事、歌声などが弱々しい。大きな声を出すことや大きな口を開けて歌うことに対して恥ずかしいと感じているようである。また、授業中の発言が少なかったり、行事の代表等への立候補が少なかったりする。また、教師から声をかけないと係の活動がおろそかになってしまったり、約束が守れなかったりすることがある。教師の指示がないと次の行動に移せないということもある。

友達関係ではグループ化が見られる。周りを拒絶するわけではないが、男女とも特定の友達と一緒にいてそのグループが行動原理となっている。また、休み時間は室内で過ごす児童が多く、おしゃべりや読書などを好んでいる。

本学級の児童には最高学年として、学校のリーダーとしての自覚と責任をもって活動してほしいと考えている。しかし、非常に消極的で指示をされるのを待っているような受け身状態の児童が多い。上記に記載した「根郷子ども宣言」の6つ目の項目にある「進取の心で取り組む」というのは、正に本学級の児童が身に付けるべき価値である。昨年度の12月に「5・6年生の引継ぎの会」が行われ、旧6年生より学校のリーダーになることの意味や、心掛けについて話を受けている。そして、1月からは学校のリーダーと活動する機会が少しずつ増えて行った。そのおかげで、新年度が始まった時は児童一人一人が学校のリーダーとしての自覚や責任感など意識的な部分ではそれなりに身に付いてはいたが、それを具体的な行動として積極的に表していけるようになってほしい。

2. 実践内容

研究主題にあるような学級作りのために、以下の3点の児童の姿を目指している。

①何事にも本気で取り組む子

達段階の特徴として本気で取り組むことに恥ずかしさを感じていたり、みんなでひとつのことを行うことについて冷さめた態度をとってしまったりすることが考えられる。しかし、一つ一つの活動を本気で取り組むことで経験する成功や失敗を通して、児童は自分の成長に気付いていこう。

②友達同士認め合える子

児童にとって学級は安全に・安心して生活ができる居場所であるべきである。そのためには、友達同士が互いの良さに気づき、認め合えるような暖かい雰囲気は欠かせない。そんな環境ならば、児童は支え合って生活することができるだろう。

③自ら気付き、考え、行動できる子

児童にとっては教師だけが主体になるのではなく、自分たちで学級の問題や目標に気付き、それを課題として捉え、みんなで解決に向けて考え行動していくような児童が主体となる集団が望ましい。そのような集団になることで、児童は互いに高め合うことができるだろう。

これらの児童の姿を目指し、本学級では以下のことに取り組んでいる。また、それぞれの取り組みの内容と目的、エピソード、成果（○）と課題（●）及び改善点（☆）をまとめた。

1 学級通信

内容：タイトル「円☆陣」

つらいことやきついこと、苦しいことにぶつかったとき、一人で悩まないでみんなで円陣を組んで協力し乗り越えて行って欲しいという願いを込めた。また、「えん」と読む漢字には「縁」や「援」があり、どちらもとても良い意味のある漢字である。6年2組として出会った縁を大切に、互いに応援し合い、円陣を組んで取り組んでいく、そんな学級になって欲しい。という願いを込めている。また、子ども達は学校を動かすエンジンであるという意味も込めている。

目的：

- ①日頃の学級の出来事や、児童の様子を保護者に伝え理解・協力を求める。
- ②学校と家庭の信頼関係を気付いていく。
- ③友達のよいところや頑張っていることを紹介し、友達同士が認め合えるようにする。

エピソード：

第1号では担任の1年間の学級経営の想いを記載した。また、保護者にも「こんな子供達になって欲しい。」「こんな学級であって欲しい。」という願いや、「学級通信でこんなことを取り上げて欲しい。」という要望についてアンケートをお願いした。そうしたところ、多くの保護者から回答があり（写真①）、学級経営方針を決める手立てとなった。

写真①

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 飯島先生、一年間お世話になりました。小学校生活最後の一年間を
 最高の年でし、下級生の見守りのおかげに、集団生活を送ることが
 出来た。自分と人との関わりが、皆々のおかげで、積極的に行動を
 していかねばと思えます。

学級通信は、勉強面だけでなく、お楽しみ会や休み時間の
 過ごし方など、学校の事がわかる事がとてもいいので、取次エフと使いた
 いです。一年間、色々お願ひ致します。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 小学校生活最後のクラスなので、~~楽し~~学校にイベントを楽しめる
 様なクラスにして頂きたいです。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 学級の子と楽しく、
 いろいろなことと話を聞いて、
 たくさん学びたい。お話を聞いて。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 小学校生活最後のクラス。6-2のみんなが仲良く助け合え
 ます。とてもいいです。
 子供同士が友達になれる。お話を聞いて。お話を聞いて。
 田中先生にしたいです。お話を聞いて。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 月曜日から、お話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 学校楽しいと思える様なクラスだと、お話を聞いて。お話を聞いて。
 と思えます。又、子供同士がお互いに尊重し合える
 事はいいですね。一年間、宜しくお願い致します。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 一年間よくお話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。
 明々楽しい。飯島先生が、クラスにしてほしいです。そして、卒業
 には、お話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。
 月曜日は、お話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。

【保護者の皆様へのアンケート】 お名前 []
 小学校生活最後のクラス。お話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。
 お話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。お話を聞いて。

また、行事の後の感想や学校のために活躍した児童を紹介することで、児童同士が互いの頑張りと想いに
 気付くようにしている。

(資料1)

成果と課題及び改善点：

- 行事のお知らせをお願いだけでなく、担任の指導方針や児童の学校の活動の様子、写真などを載せている。
 学級通信を発行することで、保護者が普段見ることのできない学校での児童の様子を知らせることができ
 ている。また、保護者からの意見や感想なども積極的に取り入れることで、家庭との連携を図ることができ
 ている。また、学級通信が保護者と児童の会話にきっかけにもなっているため、教師と児童と保護者の
 つながり築くことができています。
- 児童も保護者も、学級通信の発行を楽しみにしてくれている。
- 友達同士の認め合いにつながっている。

2 交換日記

内容：

隙間時間や帰りの会の数分を活用して一日の学校生活の感想や、友達との出来事、困っていることなどを
 書かせている。必ず一言でもコメントを入れ、翌日朝に返却している。また、行事の後に書いた日記などは、
 学級通信に載せて紹介している。

目的：

- ①子ども達とのコミュニケーション手段とする。
- ②教育相談，生徒指導に関する事案を早期発見・解決する。
- ③教師と児童の信頼関係づくり。

エピソード：

4月に入ってすぐに、入学式、1年生のお手伝い、委員会活動など学校のリーダーとしての活動する行事が行われた。それらの活動の際には担任を始め多くの教員から叱咤激励を受けてきた。児童にとって多忙な1ヶ月だったが、とても成長できたことが児童の日記から感じ取れた。(資料2①、②)

また、何でもないような内容でも日々の日記のやり取りを楽しみにしている児童もいる。(資料2③)

成果と課題及び改善点：

- 毎日全員と会話することは難しいが、日記を通して児童の色々な気持ちを感じることができている。中には、普段とても大人しくコミュニケーションがとりづらいが、日記だとたくさん書くことができるという児童もいる。
 - 相談事を書き、生徒指導事案の早期発見につながったことがある。
 - テーマ等を設けていないので、ただの「〇〇が楽しかった。」などの簡単なふり返りだったり、一言だけの内容になってしまったりしがちである。
- ☆日記を書く時にテーマを与えたり、条件を与えたりして取り組み方を少しずつ変化させていく。

3 飯嶋ミッション

内容：

短期(1日の中)～長期(1ヶ月間)での生活のめあてを3段階のレベルに分け与える。達成できたら教室に掲示し、いつでもふり返られるようにしている。(資料3①) また、達成した際にはレベルに合わせてビー玉を貯金していき(資料3②)、約30個貯まったら「直人ンピック」と題した学級レク大会を行う。「(びったり10秒チャレンジ)」というものを行った。(資料3③)

・達成できたミッションの一部(星の数は難易度)

検診中一言もしゃべらない(☆) 3分前着席(☆☆) 委員会の委員長に10人以上立候補する。(☆☆)
委員長に4人以上なる。(☆☆☆) 組体操では練習から本番までケガをしない。(☆☆☆)

・達成できていないミッション

1日に1回手を挙げて発表する(☆☆) 給食を1週間連続で完食して返す(☆☆)
先生やお客様には必ず自分から挨拶をする(☆☆) クラスの全員と話をする(☆☆)

目的：

- ①日常生活でのめあてをもたせる。
- ②頑張った後には楽しい出来事を与えることで、生活のモチベーションを高めさせる。

エピソード1：

達成ミッションを見ていた児童は「1回達成したミッションなのに、最近出来ていないことがあります。もう一度ミッションにしてください。」と相談にきたことがあった。そこで、掲示物を取り外し、それを児童に見せて話し合わせた。そこから、児童は一度出来たら満足するのではなく、より高いレベルを目指していくという意識に変わった。

エピソード2：

運動会当日には「表現運動で飯嶋先生を泣かせる」というスペシャルミッションをみんなで作った。ミッションを達成したいというのがきっかけとなり、本番ではみんなが一つになり大成功を喜び合った。

成果と課題及び改善点：

- 1日の生活の中での具体的なめあてをつかむことができるので、全員が達成しやすい。
 - ごほうびのレクを楽しみにしている児童も多い。できなかったら罰ではなく、できたからごほうびがあるという前向きな条件の方が、みんなで達成しようとする気持ちを高められる。
 - 一つ一つのミッションが単発に終わってしまい、継続できていない。
 - 基本的な生活に関わるミッションは達成できているが、積極性に関わるミッションは達成率が悪い。
 - 全員できなくてはいけないのか、8割以上ができていればよしとするのか基準が明確になっていない。
- ☆自主性に関わるミッションを多く与えていく。
- ☆細かく刻んだめあてではなく、「修学旅行を成功させよう」という大きなテーマの中で、ミッションを与え取り組ませていくといった方法にしていく。また、学級会で児童にミッションを考えさせて、取り組ませる。

4月末の生活振り返りシート

内容：

毎月月末に、学校生活に関する25項目について自己評価をさせ合計点(100点)を出す。全員分の平均点をもとにそこから課題を見出し、指導方針を決定していく。(資料4①、②)また、結果を学級通信で配信し、保護者とも共有を図る。点数が低いものは学級会で議題とし、解決策や改善案について話し合っている。

4月は新年度が始まった緊張感もあり、学校生活へのモチベーションも高くどの項目とも高い点数となっていた。5月は運動会の練習や係の活動を通し、積極性や自主性に関する項目の得点が上がった。(項目9、18、22、23)しかしその反面、多忙さに追われて基本的な生活習慣に関しては下がってしまっている。(項目1、2、7、13)6月は大きな行事が終わり生活のモチベーションを保てなくなってしまったことがあり、最も低い平均点となってしまった。それを受け7月は、夏休み前のまとめということで基本的な生活の指導に立ち返ることで、多少ではあるが改善することができた。

目的：

- ①月ごとの数値の変動をみることで、頑張ったことや課題について、自ら気付かせる。
- ②学級の指導方針を考える材料にする。

エピソード：

毎月項目5の得点が最も低くなっているので、学級会の議題にした。話し合いを進める中で、積極的に挙手ができない理由として、「間違えるのが嫌だ」「回りがどう反応するかわからなくて不安」と言うことが挙げられた。そして、結果として「地震がある人はパー、自信はないけどわかる人はチョキ、全然わからない人はグーというようにハンドサインを変えて挙手をする」というA案と「聞いている人はきちんと反応する」というB案の2つの解決案にまとまった。1週間の取り組みの様子をふり返って見ると、A案ではもともと挙げていなかった人はグーばかりで結局発表していないという状況が見られたので中止となった。B案の方は8割以上の児童が自分の中で心掛けが変わったと判断していた。私も大きな変化はないが、多少なりとも良い方に変化していたと感じたので、引き続き取り組んでいくこととなった。

成果と課題及び改善点：

○点数化しているので、何がなくて何が低いのか見て判断しやすい。また、前回の分を見ながら自己評価をしていくので、前回と比べてどう変化したかという視点でふり返ることができる。

●担任が感じていることと、児童の自己評価にギャップがある。

☆概ねできていることが多いので、項目を変えていく必要がある。基本的な生活習慣についての項目が多いので、目指す児童の姿と関わりのある項目を増やしていく。

☆内容項目にまとまりがない。「時間」「廊下歩行」「授業態度」などというように整理すると、より実態がつかみやすくなる。

5 学級会

内容：

毎月の生活目標に対する学級での取り組みを話し合う。また、教室に「意見箱」を設置し、子ども達から話し合いで解決したいことや、生活上の課題を書かせる。(資料5①、②) そこに書かれたことについて、学級活動の時間に学級委員を中心にして、改善策や助言等を話し合う。また1週間でその取り組みについて効果や改善点があったかなどのふり返りを行う。話し合いの様子は書記係が記録していく。(資料5③、④)

目的：

- ①子ども達が自ら気づき、話し合い、考え、行動する経験をさせる。
- ②学級の課題を自分のこととして考え、全員で協力する姿勢を養う。
- ③多様な考えや意見を認められるようにする。

エピソード1：

本学級では、運動会の応援団や選手宣誓の役目などへの立候補がとても少なく積極性に欠ける部分があった。それは学級の課題であると感じたので「小学校生活最後の運動会をどんなものにしたいか。」について話し合いをさせた。児童からは「後悔したくない」「一人一人が協力し合う」「本気で取り組む」などというキーワード出された。最後に「そういう気持ちを持ってたくさんのことに挑戦してほしい」と気持ちを伝え、スローガンを作成した。児童一人一人が自分の考えを話すことで意識の変化はあったと感じられる。

(資料1 12号)

エピソード2：

6月の学校生活目標は「きれいにそうじをしよう」であり、学級での具体的な取り組みについて学級会で話し合った。課題点として、始まりと終わりの時間が守れていないということがあげられ、結果として「時間内で隅々まで掃除ができるようにてきぱき行う」という意見にまとまった。具体的な方法として、各そうじ場所のチェック表を作成し班長が記録していくという意見がでた。しかし、それに対して「時間内に終わらせようとして、手を抜いてしまうのではないか。」という反対意見も出された。「誰がチェック表を作成するのか。」「出来たらどうするのか。」など意見の交換がされ、最終的には各場所の始めと終わりの時間を設定し、班長が責任をもって時間の管理をしていくことでまとまった。また、それをミッションとして掲示し、1週間全担当ができたなら達成であるということになった。時間内に終わらせるためにてきぱきと掃除をしようとする中で、黙働清掃の意識にもつながった。(資料4② 項目13)

成果と課題及び改善案：

- 自分たちで話し合っ出た解決案であるため、行動に移そうとする意欲が高い。
 - 発言する児童が固定化されていて、似た意見や反対意見などの深まりがない。
 - 司会進行の経験が浅く、時間配分が悪かったり、間が空いてしまったりして時間がかかってしまう。
 - 課題に対しての解決策やめあてが抽象的なものが多く、確実に達成できたかどうかわかるような結果にまとまらないことが多い。
 - 学級会に臨む姿勢に差がある。学級の課題を自分自身の課題としてとらえている児童が少なく、受け身の状態である。
- ☆意見用紙はメモ用紙を活用したとても簡単なものであるので、議題の提案理由や改善したいことが明確になるような議題提案用紙を作成していく。
- ☆学級会を通して自分たちで問題解決をしていくことの意義や目的を、児童一人一人が納得して行えるようにする。

6 サイコロトーク

内容：

帰りの会で日直がスピーチをする。前日にサイコロを振って出た目に対応するテーマで行う。(資料6)
1周目は担任がトークテーマを決めた。2周目以降は児童からテーマを募集して決めた。(写真2)

目的：

- ①普段積極的に発言できない児童にも人前で話をする機会を作る。
- ②友達の話に耳を傾け、称賛する時間にする。
- ③話す能力を高めさせる。

エピソード：

学習の習熟度が低い文章作成が苦手だったり、自分の考えをうまく伝えることができない児童が、サイコロトークではスピーチの構成を工夫し、笑いをとるなどして称賛されていた。(資料6⑥)

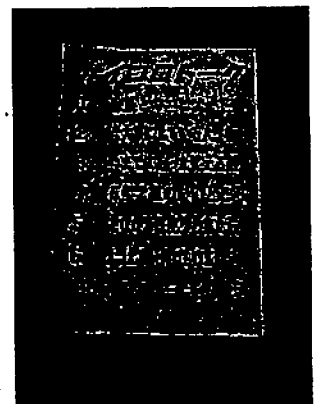


写真2

成果と課題及び改善点：

- きちんとスピーチの準備をさせることで、どの児童もスムーズにスピーチを行うことができた。
- 毎日のスピーチを楽しみにしている児童が多く、聞く態度がとてもよい。
- スピーチを聞いたあとは、自然と褒める言葉や拍手がある。

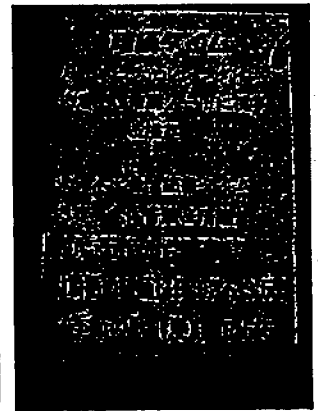


写真3

7 群読 暗誦

内容：

- ・校内で使用している音読教材「進取の言葉」を活用し、朝読の時間やチャレンジタイムに学級で暗誦する。(写真3) 4月は本学級では『教室がまちがうところだ』の群読を行った。(写真4)
- ・朝の挨拶では教室の中央に体を向け、一人ずつ順番に挨拶をしていく。
- ・朝の会で『根郷小子ども宣言』を暗誦する。

目的：

- ①明るい雰囲気をつくるため。
- ②仲間意識を育てるため。
- ③大きな声を出すことの気持ちよさを味わわせるため。

成果 (○) と課題 (●) 及び改善点 (☆)：

- 初めの頃よりも声を出す技術が向上している。
- 一生懸命声を出す児童と、嫌々やっている児童で態度に差が出ている。
- ☆いつも同じようにやっているモチベーションが下がってしまうので、他学級や他学年に見てもらったり、他の先生方に見てもらったりして刺激を与えていく。

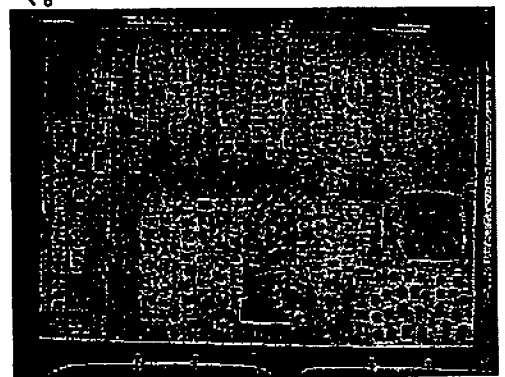


写真4

3. これまでの実践を通して

これまで取り組んできた実践は主に教師が主体となって児童に与えてきたものが多い。それらは今後、児童が主体的に活動していくために必要な視点だったり、方向性を示すための材料となったりしている。目指す児童の姿①と②に関しては、これまでの実践を通して変化してきていると感じる。③の育成についての取り組みとしては学級会がメインとなっているが、現段階では求めるレベルからは遠いものである。また、現在は教師対児童の関わりが多いが、主題に迫っていくためには児童対児童の関わりが多くなっていかなくてはならない。

そこで、今後はこれまでの実践の成果や課題を土台とし、児童と児童が主体的に関わっていくことを通して③の育成をねらいとして指導していく。そのために、今後行われる行事を活用していきたい。夏休みが明けると修学旅行、学級対抗リレー、音楽群読発表会と大きな行事が続き、それが終わるといよいよ卒業式に向けての準備始まってくる。学級のことから、学年のこと、学校全体に関わる行事を経験する中で実行委員を設けたり、グループ活動で班長を決めさせたりして、リーダーとして活動できる場を意図的に設けていく。また、児童が学級の課題を自分の課題として向き合えるようなより充実した学級会を通して、児童の力で課題を解決していく経験をさせたい。以上のことを踏まえ、以下のことを仮説とし研究に取り組んでいきたい。

4. 研究仮説

仮説1：色々な行事を通してリーダー経験をすることで、児童は自らの成長に気付くと共に、支え合える集団となるだろう。

仮説2：児童同士で学級の課題を話し合う機会を数多く経験することで、互いに高め合える集団作りができるだろう

資料編

1. 学級通信
2. 交換日記
3. 飯嶋ミッション
4. 生活ふりかえりシート
5. 学級会
6. サイコロトーク内容

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人

円☆陣

平成30年度
4月6日
第1号

進級おめでとございます

ほかほかと暖かい日が続き、すっかり春となりました。澄み渡る青い空も子供達の進級を祝っているようです。縁あって、この度6年2組の担任になりました。飯嶋直人です。本学年の子供達は3年の時に一度担任をしました。それから2年、身も心も大きく逸しく成長した子供達を再び担任することができ、本当にうれしく思います。子供達に負けない元気とパワーで一生懸命頑張ります。一年間、どうぞよろしくお祈りします。

学校での出来事や子供達の様子を保護者の皆様にとくさん伝えたいという思いから、不定期となりますが、学級通信を発行することにしました。

学級通信のタイトルは「円☆陣」にしました。この一年間、つらいことやきついこと、苦しいことがたくさん待っていると思います。そんな時、一人で悩まないでみんなで円陣を組んで協力し乗り越えて行って欲しいという願いを込めて、このタイトルにしました。その先にはきっと素晴らしい思い出が残ることでしょう。

また、「えん」と読む漢字には「縁」や「援」があり、どちらもとても良い意味のある漢字です。6年2組として出会った縁を大切に、互いに応援し合い、円陣を組んで取り組んでいく、そんな学級になることを期待しています。

お願い&連絡

子供達や保護者の皆様の願いや思いをふまえて、学級経営や学級通信の作成をしていきたいと思っておりますので、可能な方は下記のアンケートにご協力いただけたらと思います。「こんな子供達になって欲しい。」「こんな学級であって欲しい。」という願いや、「学級通信でこんなことを取り上げて欲しい。」という要望など、何かありましたらご記入の上、担任までご提出いただけたらと思います。

切り取り

【保護者の皆様へのアンケート】

お名前 ()

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人

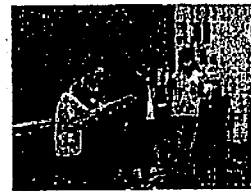
円☆陣

平成30年度
4月26日
第10号

1年生を迎える会成功！

25日(水)に1年生を迎える会と縦割り活動がありました。1年生を迎える会では、児童会運営委員会の子供達が司会進行をしたり、始めや終わり、歓迎の言葉を述べたりしました。はきはきとした言葉や、堂々とした演技はさすが6年生と自覚したところでした。2~6年生で歌った『桜の街』も口を大きく開け、よい表情で歌い1年生に届けようとする思いが伝わりました。

後半は、縦割り班に分かれての活動で、6年生が中心となって運営しました。この日を迎えるまでに、休み時間を削りながらも、プラカード作成や縦割り遊び計画の話し合いに時間を費やし、円陣を組んで頑張っていました。その努力の結果、他学年の子供達は楽しく活動することができ、各班の先生方からも「6年生がとてもよくやってくれました。」と褒めていただきました。とてもうれしかった瞬間でした。6年生にとっても成長につながる1日だったのではないのでしょうか。



子供の感想より一部抜粋

初めての6年生としての縦割り活動で緊張したけど、友達と協力しながら進めることができて楽しかったです。

6年生としての役割を感じることができました。次はもっと楽しい活動にしたいです。

緊張したけど、他の学年が楽しんでいる姿を見てすごくうれしかったです。

今までの6年生が頑張っていたのを感じることができた。自分たちも根郷小のリーダーとして、学校のためにこれからも頑張っていきたい。

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人



平成30年度
5月2日
第11号

5月が始まりました

あっと言う間に4月が終わり、5月に入りました。暑い日も続き夏が近づいてきたように思います。新年度が始まって早々に入学式があり、その後も1年生のお手伝いや委員会活動、縦割り活動など日々学校のために活躍しています。先日、校長先生の学級訪問があり、終わった後に「5年生の頃と比べ、ずいぶん成長しているね。最高学年としての自覚と責任があるのを感じたよ。」と私に話してくださいました。とてもうれしかったです。たった1ヶ月間でも、子供達はたくさんの経験をしてたくましく成長したのだと感じました。また、学級訪問の際に「考える力」について話をさせていただきました。「わかっている答えを求めたり、すでに発見されている事実を覚えたりするのではなく、新しい答え、考え方を見つけていく力がこれから大人になっていくのに必要である。」ということを学んだ貴重な時間でした。日記でも4月の生活について一人一人にふり返りを書かせました。それぞれできたこと、できなかったこと振り返り、5月のめあてをもっています。

※日記より一部抜粋

最高学年になったので、まわりの人や先生方の目が変わってきています。全校集会でおっしゃっていた通り、学校のスタッフとして困っている人がいたら助けてあげたいです。

6年生になって実際に活動してみるととても大変なんだと思いました。でも、たくさんの仕事を頼まれたり、色々なことができるのですごく楽しいです。

最高学年としての自覚がもてきたかなと思います。この一年間は自分の仕事をしっかりとやって、リーダーとして手本になれるように頑張りたいです。

これからも小学生最後の〇〇が続くので、今まで以上に頑張らないと思いました。学級目標の「本気」をこれからも意識していこうと思いました。

連絡&お願い

- 明日(5/3)から、4連休になりますので、以下の点について、お子さんと確認してくださいと、助かります。
 - ・運動会についての、登校時刻変更(特に応援団)
 - ・休み明けの持ち物(筆箱の中身・ハンカチちり紙など)
 - ・生活に関する基本的な約束(遊びに行くときの約束)
- 本日、集金袋を配布しました。集金日と金額をお間違えの無いよう、持たせてください。

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人



平成30年度
5月7日
第12号

運動会練習が始まりました

本日より運動会練習が始まりました。子供達にとって、小学校生活最後の運動会となりますので、悔いが残らないように全力で取り組んでほしいと思います。私としましては、けがや事故がないよう安全に留意して指導していきますのでよろしくお願いします。

運動会に向け、4月からすでに保や紅白決めなど準備を始めてきました。その中で、応援団が決まらずに話し合いをしたり、選手宣誓に立候補する人がいなかったりと積極性に欠ける部分がありました。そのため、運動会のスローガン決めの話し合いの始めに、私から「どんな運動会にしたいか。」と問いかけ、子供達からは「後悔しない」「協力し合って」「絆を深めたい」「本気で取り組む」などという言葉が出ました。「そういう気持ちをもっと行動に出して、色々なことに挑戦してほしい。」と私の想いを伝えました。その後の話し合いでは、一人一人真剣に考えていたように感じます。2組のスローガンは、

「風に乗り 勝利の道へ 駆け抜けろ」

に決まりました。今年の運動会のスローガンに選ばれてなくても、学級のスローガンとして掲げ練習や本番に生かしていこうと思います。

全校集会にて

5月2日(水)に全校集会が行われ、その中で「根郷子ども宣言進取の誓い」を■■■■さんがステージの上で児童代表として述べました。はきはきとしていて体育館に響く声でした。また、「ボランティアさんお願いしますの会」では、■■■■さんが児童代表として、言葉を述べました。大変気持ちがかもっていてすばらしい読み方でした。二人とも色々な先生方から、お褒めの言葉をいただきました。以下、■■■■さんのスピーチの内容です。

ボランティアのみなさん、今日は僕たちのためにご来校いただき、ありがとうございます。いつもぼく達根郷小学校の子供達を温かい目で見守って下さっていることに、感謝しています。雨の日も風の日も、登下校の見守りをして下さったり、学校をきれいにしてくださったりするおかげで、僕たちは安全で楽しい学校生活を送ることができています。

日々、僕たちのために活動してくださっている中で、疲れてしまうときもあるかもしれませんが、体調を崩してしまうこともあるかもしれませんが、そんな時は、無理をせず、お体には十分気を付けてください。健康第一です。

僕たちは最高の笑顔で挨拶をすることで、感謝の気持ちを表したいと思います。僕たちがボランティアのみなさんの支えとなれるように頑張ります。一年間よろしくお願いします。

児童代表、六年二組■■■■

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人



平成30年度
5月18日
第16号

陸上部大活躍！！

5月15日(火)に行われた、「一部会陸上大会」にて、根郷小学校の陸上部はとてもよく頑張りを、大変すばらしい結果を残しました。私は当日、決勝審判を行う役割でしたので、子供達がゴールするのを目の前で見る事ができました。全力で駆け抜ける姿や顔つきを見て、本当に感動しました。

以下、参加メンバーのふり返りです。(一部抜粋)

学校で出した記録よりも3cm高く飛べて、自己ベストが出せたので良かったです。教えてくれた昆野先生や、いつも支えてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。 [名前]

一番の人だけでなく、最後の人も全力で取り組んでいる姿がとても印象に残りました。最後まで頑張っている姿が、思わず拍手してしまうほどかっこよかったです。 [名前]

きれいな走り方をしている人や、腕を90度にして振っている人がたくさんいて参考にしたいと思いました。選手のみんなを情一杯応援できたので良かったです。 [名前]

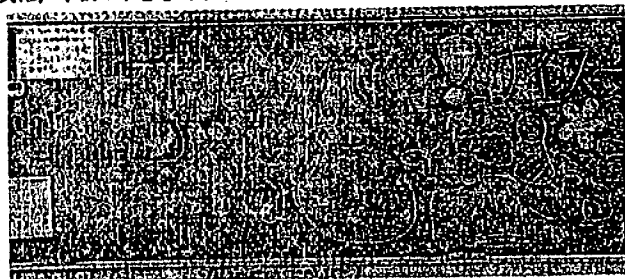
他の学校の選手の足の速さが印象に残りました。昨大会に進んだみんなには本当に頑張ってもらっています。 [名前]

リレーでは一走で走ってすごく緊張したけど、良い結果が出せてよかったです。走り幅跳びでは、学校の記録より不思議に思うくらい高く飛べました。教えてくれた先生方と応援してくれたみんなのおかげです。 [名前]

800m走で去年の目標だった10位以内を達成することができたのでうれしかったです。他の選手たちの走りをこれからの陸上練習に活かしていきたいです。 [名前]

リレーも1000m走も、今までで一番良い記録が出せたのでうれしかったです。自分の中ではいいタイムが出せましたが、上には上がいるというのを感じ勉強になりました。 [名前]

また、残ったメンバーも一生懸命応援しながら、協力して学校生活を送っていたようです。下の写真は、学級の子供たちが残したメッセージです。



佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人



平成30年度
5月23日
第17号

相撲部大活躍！！

5月20日(日)に行われた、「第27回わんぱく相撲大会佐倉場所」にて、根郷小学校の相撲部は個人戦でベスト8まで進んだ選手がいたり、団体戦で3位に入賞したりととてもすばらしい結果を残しました。子供達の熱いぶつかり合いや、勝ったときに見せた笑顔は見ている本当に感動しました。



<表彰式の様子>

個人戦は、少しあきらめてしまったところもありましたが、団体戦で3位になってよかったです。昼に食べたちゃんこ汁が、とてもおいしかったです。坂 [名前]

初めてわんぱく相撲大会に出ました。個人戦は、1回負けたら終わりなので、油断は禁物という気持ちで本気で戦いました。結果は2勝1敗で声が出ないくらい悔しかったです。秋の大会でもっと良い結果を出すために、一粘り懸命練習します。 山井 [名前]

朝早くから、息を切らしながら走る陸上部、全力で体をぶつける相撲部、学校にきれいな歌声を響かせる合唱部、毎日たくさんの子供達が頑張っています。児童の成長につながっていること間違いありません。そんな子供達のために、私は出来る限り支えていきます。

運動会もまもなくとなりました。暑い中、毎日の練習で子供達も疲れがたまっているかと思いますが、ケガや体調を崩さないよう、無理はせず練習に取り組んでほしいと思います。また、十分な睡眠と食事など健康のためにさらなる支援をよろしくお願いいたします。

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人

円☆陣

平成30年度
5月25日
第18号

運動会がんばります

自分の保で無駄のない動きが出来るようにします。 ■■■	組体操で、一度も崩さないように頑張ります。 ■■■	進行でセリフをかまわずに言ったり、応援をしっかり行ったりします。 ■■■	今年運動会で決まっているので、今年も最後までしっかりとがんばります。 ■■■
高学年らしく、てきぱきと行動し、最後なので全力を出し切ります。 ■■■	胸が負け関係なく、本気でやり抜きます。 ■■■	綱引きや陣引きでケガをせず、100m走で悔いの残らないようにします。 ■■■	組体操で1度も崩さず、成功させたいです。 ■■■
探検活動で指差しをしっかり聞いて、てきぱきと行動します。 ■■■	最後の運動会、ケガのないようにします。 ■■■	自分たちで作上げる運動会にするために、全力で取り組みます。 ■■■	大きな声を出し、全力で走り、しっかり返事をします。 ■■■
係の仕事に責任を持ち、悔いの残らないよう集中して取り組みます。 ■■■	ケガなく安全に活動します。 ■■■	小学校最後の運動会だから、悔いの残らないようにしたいです。 ■■■	リレーで1位を取りたいです。 ■■■
最後の運動会だから、悔いの残らないように一杯全力をつくします。 ■■■	スローガンをしっかり守り、優勝したい思い出を残したいです。 ■■■	小学校最後の運動会なので、夢が勝てるように一杯応援します。 ■■■	100m走で1位をとれるように頑張ります。 ■■■
最後の運動会になるので、一生懸命悔いのないようにしたいです。 ■■■	毎日いい練習を残したいです。係の仕事で、失敗しないように頑張ります。 ■■■	綱引きで絶対に勝ちたいです。 ■■■	初めての運動会なので自分達が頑張るだけでなくチームをしっかりと支え、みんなが楽しめるようにします。 ■■■
自分に出来る限りの力をだしてよい思い出を残します。 ■■■	応援団長としてみんなを応援して、絶対に勝ちます。 ■■■	3位以内に入りたいです。応援賞をとりたいです。 ■■■	自分たちで運動会を作り上げて、悔いの残らないようにしたいです。 ■■■
最後の運動会なので、悔いの運動会にしたいです。 ■■■	疲れたままっている中、毎日必死になって練習を頑張っている子供達は、とてもたくましいです。表現運動は、日に日に目に見えるように上進しています。最後の練習では、みんなの心が一つになったことに胸がふるえました。小学校生活最後の運動会が最高の思い出となるように、全力を尽くしてサポートします。どうぞよろしくお願ひします。 飯嶋直人		

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人

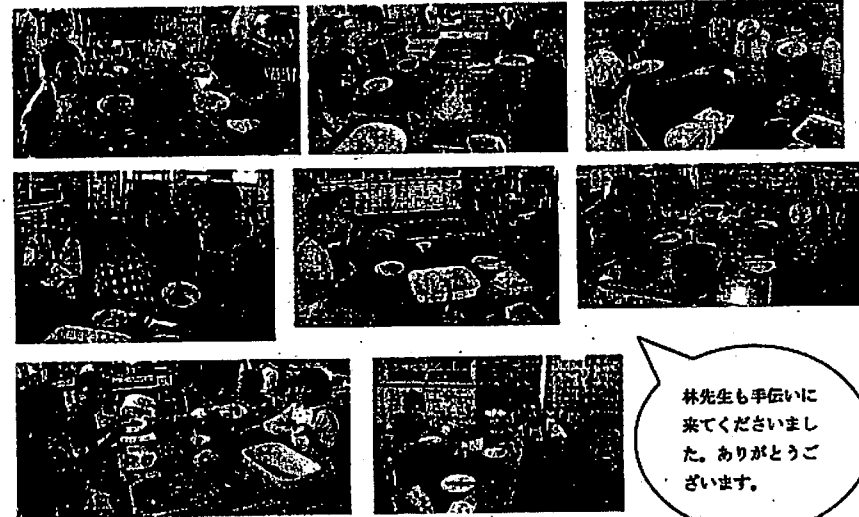
円☆陣

平成30年度
6月1日
第21号

6年生初めての調理実習

5月31日(木)、家庭科「いためてつくろう 朝食のおかず」の学習で、野菜いためとスクランブルエッグを作りました。新しくできるようになったことが増えた、とても貴重な経験となりました。

私は実習の様子を参観していました。野菜を切ること、火をつけること、炒めることなど初めて経験することには戸惑いがあったようですが、友達と協力しながら一生懸命活動に取り組む姿が印象的でした。生きる力に直結する学習となりました。



林先生も手伝いに来ていただきました。ありがとうございます。

※子供感想(一部抜粋)

切ったり洗ったりするのを同じ班の人に少し任せてしまったのが反省点ですが、自分たちで作ったのでおいしかったです。

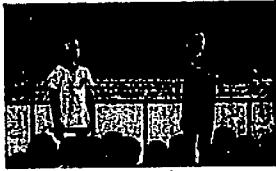
上手いのか心配だったけど、チームワークがとてもよくてうまくできました。

キャベツの芯取りやニンジンを炒めるのはとても緊張しましたが、友達と協力して完成出来て良かったです。

「できることを増やす」ということを目標にして頑張りました。今日の学習では「炒める」ができるようになりました。手伝いの種類を増やせたので良かったです。

6月の全校集会にて

6月5日(火)に6月の全校集会が行われ、6年2組の代表児童が活躍しました。



応援団長による、運動会の総括がありました。応援団長としての熱い想いや、全校児童への感謝の気持ちを堂々と述べる事ができました。最後には団長としての最後のエールを送り、全校児童から温かい拍手が送られました。

ぼくは1年生の時から応援団長になりたいと思っていました。大声で応援している音がカッコよかったからです。4・5年生で応援団をやリ、大きな声が出せるようになりました。応援団長のオプションでは、みんな大きな声が出ていたので心配でしたが、なれてうれしかったです。

運動会練習が始まりました。今年は新しい応援を作りましたが、4・5年生がたくさん考えてくれました。どれもいい応援だったので、不安が一気になりました。

運動会の当日になりました。午前の応援合戦では紅が勝ちました。各学年の種目が始まり、みんな全力を出して応援しました。午後の部のダンスも大ウケで楽しかったです。

閉会式で総合優勝が発表されたとき、すごくうれしかったです。みんなにおめでとうと言われました。紅旗のみなさんありがとうございました。

紅組団長 [名前] さん



[名前] さん



[名前] さん



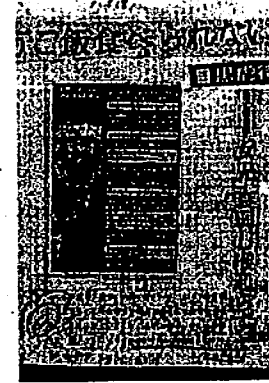
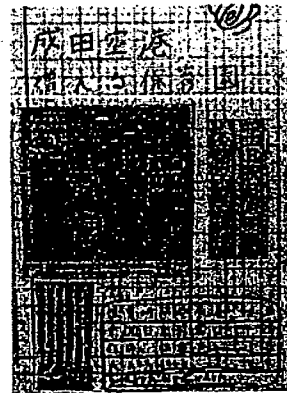
[名前] さん



今月の生活目標は「きれいにそうじをしよう」です。そこで、環境美化委員会の代表者より、
①口を動かさないで手を動かす
②自分からよごれやほりを見つけてよう
③時間いっぱい掃除をしよう
④注意するより自分のそうじ
という、4点について寸劇を交えながら話がありました。全校のみんなにしっかり伝えようと、一生懸命話していました。

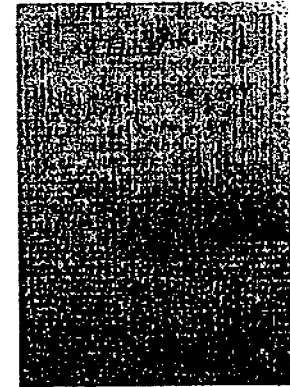
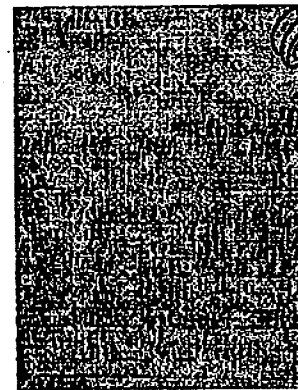
個性溢れる自学ノート

週末の宿題にしている自学。子ども達はそれぞれ工夫して、取り組んでいます。個人的に良いと思ったものを随時紹介します



[名前] さん(右)
[名前] さん(左)

新聞記事を切り抜き、自分が思ったことを書いています。社会の出来事に目を向けることは、とてもよい学習になります。



[名前] さん(右)

習い事で学習している英語についてまとめました。英会話文を文庫にしています。

[名前] さん(左)

北海道の地名や名物などをまとめています。これから調べが日本全国に広がっていくのが楽しみです。

佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人

円☆陣

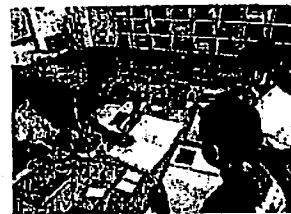
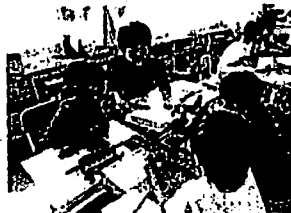
平成30年度
6月29日
第29号

オリジナル枕草子作成中!

現在、国語科では「随筆を味わおう・春はあけぼの」の学習をしています。作品を読んで、随筆の特徴を知り、表現を味わっています。そして、最後は「オリジナルの枕草子を作ろう」というめあてで取り組んでいます。

先日、それぞれが書いた作品を友達同士で読み、アドバイスしました。一人一人が友達の良いところを見つけ、さらに良くなるような助言をすることもできていました。清書が楽しみです。

また、話し合いの時間は昆野先生が授業をしました。音読の声の出し方や、話し合いの仕方について褒めてもらい、子ども達もいつもより張り切って学習に臨んでいたように思います。



各班の話し合いの様子

昆野先生の話真剣に
聞く様子



佐倉市立根郷小学校
6年2組学級通信
飯嶋 直人

円☆陣

平成30年度
7月13日
第30号

指導室訪問がありました

7月12日(木)、指導室訪問があり、本学級では防災教育をしました。
近頃は西日本の豪雨が連日ニュースで報道されていたり、先日は千葉県東方沖で震度5弱の地震があったりと、災害が遠いものではないように感じています。また、30年以内に千葉にとっても大きな地震が来るとも言われています。

そこで、「いざという時のためにどのような心掛けや備えが必要だろうか。」ということ課題とし、個人で考え、グループで話し合い、全体で共有するという活動を行いました。子ども達は自分たちが出来ることを一生懸命考えていたと感じます。

以下、ふり返りの文章です。(一部抜粋)

自分のことを守るのは当たり前だけど、周りの人のことにも気を配ることが大切だと思いました。本当の地震が起こった時に備えて、家族との集合場所などを確認したいです。

いつ、どこで、災害があるかわからないから、日頃の避難訓練や大きな返事することなどから意識して取り組んでいきたいです。また、小さい子を助けることも頑張りたいです。

災害が起きてから色々するのはなく、日頃の生活から災害のことを意識して過ごすことが大事だと思いました。災害が起きた時は、周りをよく見て行動します。

土曜日の地震や、先日の夜の大雨、雷のことを含めて、災害は改めて怖いと実感しました。災害のことを頭に入れておいて、食料などの用意をして災害に備えたいです。

災害が常に身近にあることを意識することや、周りの人に気を配ることが大切だとわかりました。最高学年として、地震などが起きた際には低学年を助けたいです。

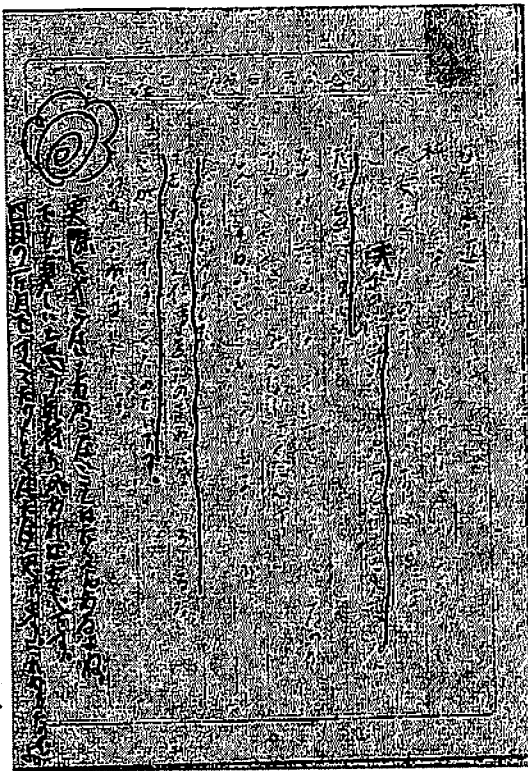
また、災害が起きた時の約束を家族と話し合いたいという意見や、緊急防災グッズの確認をしたいという意見が多くありました。良い機会ですので、一度防災について話し合ってみてはいかがでしょうか。

↓7月10日(火)に歌声交換会がありました。6年2組の優しい歌声が響いていました。

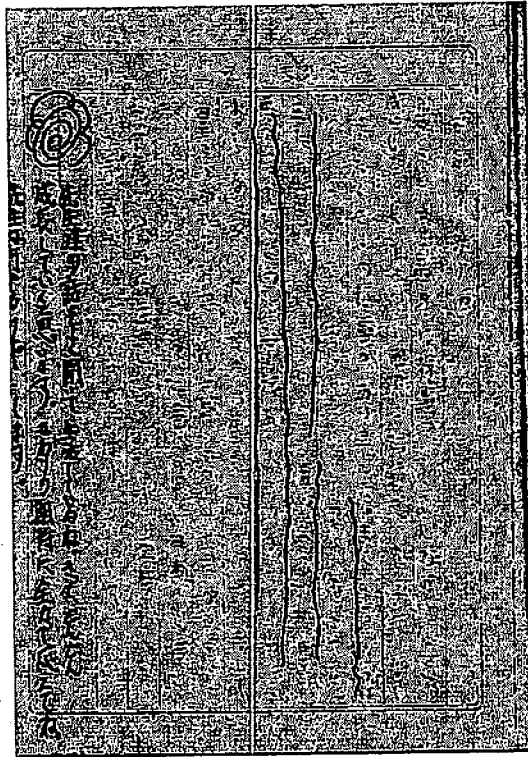


資料2 交換日記

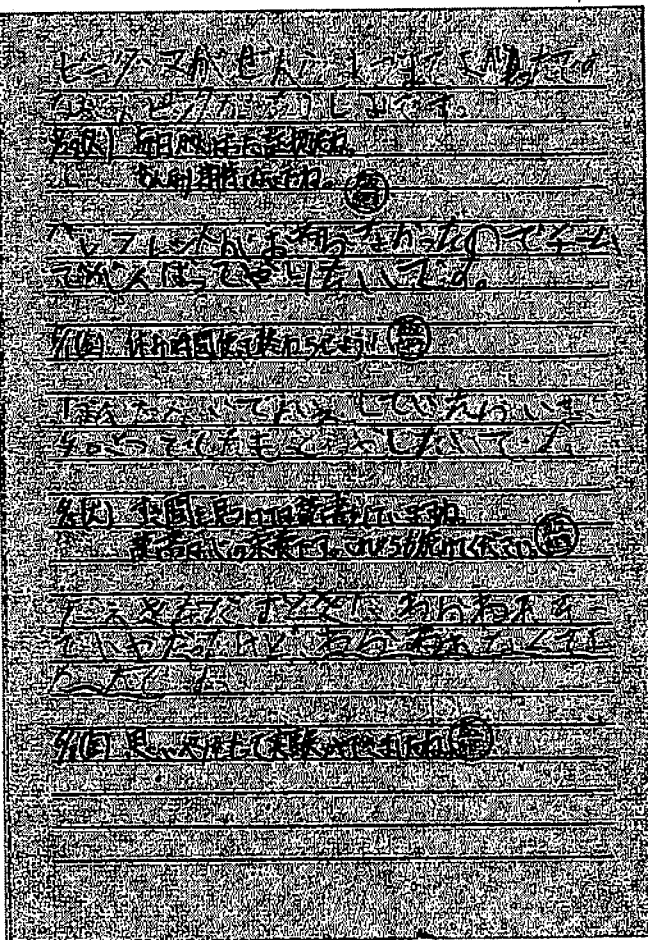
①



②

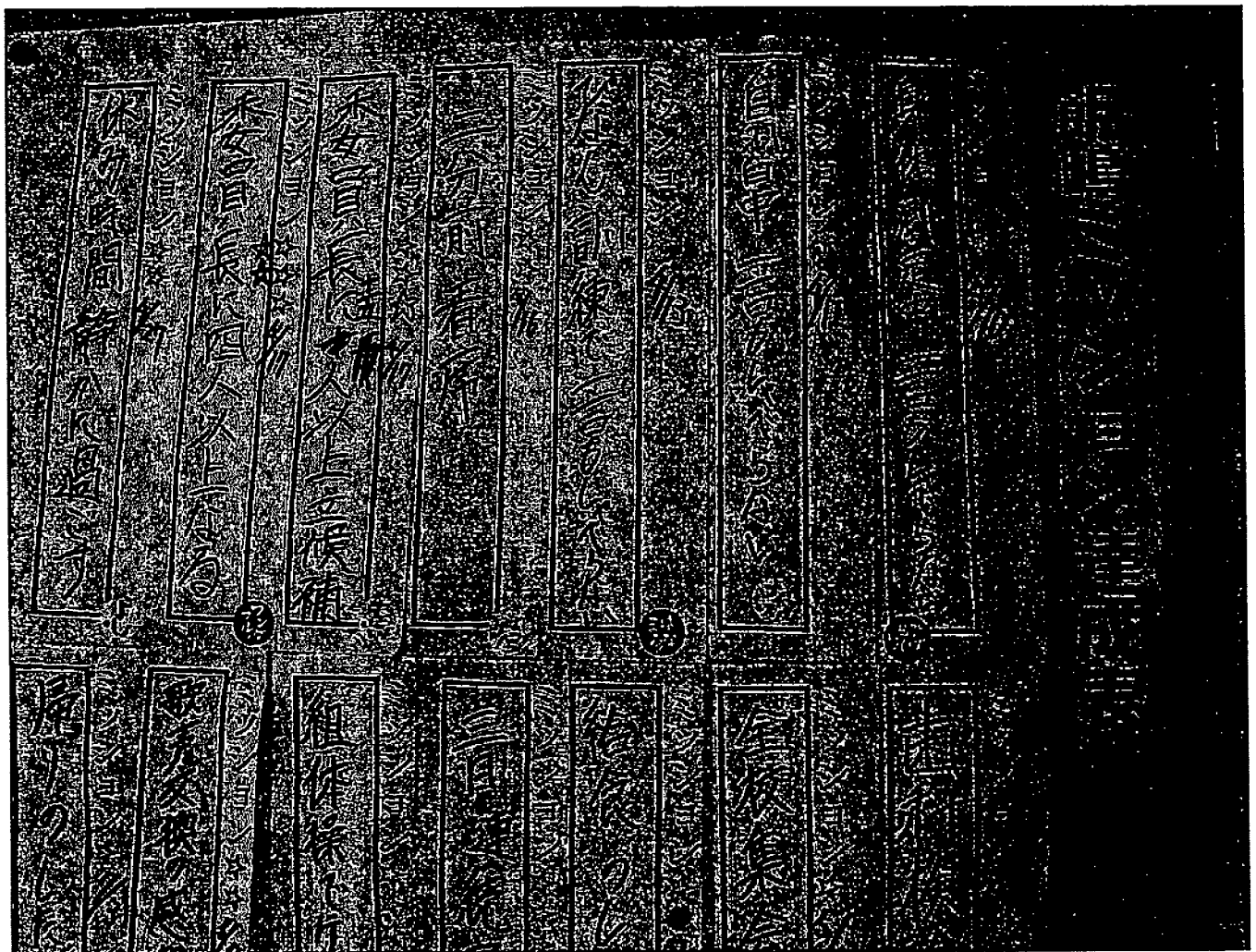


③



資料3 飯嶋ミッション

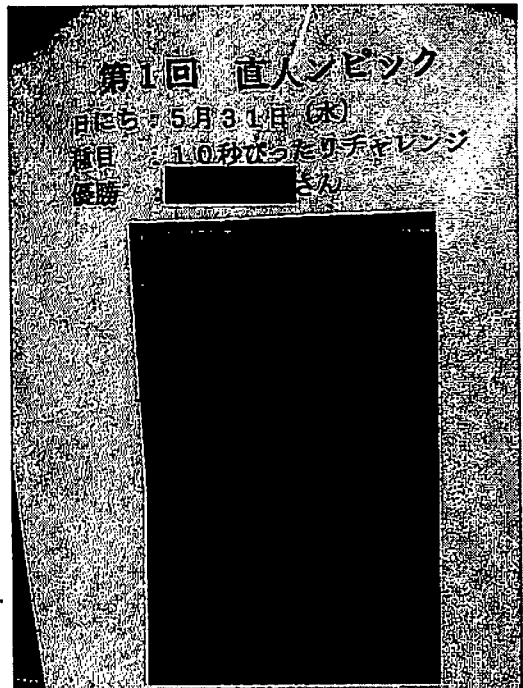
①達成ミッションの掲示



②ビー玉貯金



③「直人ンピック」結果発表



資料4 生活ふり返りシート

①原本

生活ふり返りシート		
	組 番 名前	
	よく当てはまる→4 当てはまる→3 あまり当てはまらない→2 まったく当てはまらない→1	
内容	評価	
1	朝の読書3分前には本を準備し、座ろうとしている。	
2	次の時間の準備をしてから休み時間を過ごしている。	
3	1分前の着席をしている。	
4	授業中は、「覚えよう」「できるようになろう」と思っている。	
5	授業中は、手を挙げて参加している。	
6	授業中は、おしゃべりをしていない。	
7	ノートを丁寧にとっている。	
8	担任が出張時や担任以外の先生の授業でもしっかりした態度をとっている。	
9	すれちがう先生、保護者、お客様に挨拶をしている。	
10	靴箱の入れ方やロッカーの整頓を意識している。	
11	友達をけったり、たたいたりしていない。	
12	友達の嫌がること、悪口を言っていない。やっていない。	
13	そうじは黙って行っている。	
14	教室の移動はしゃべらず静かに右側通行をしている。	
15	うそをついていない。ごまかしたりせず、自分の都合の悪いことも正直に言っている。	
16	廊下は走っていない。	
17	友達の注意を正直に聞いている。	
18	進んで学級の手伝いをしている。	
19	歌をしっかり歌っている。	
20	男女問わず普通に接している。	
21	誰にでも優しく接している。差別をしていない。	
22	係、当番、委員会の活動は責任をもって取り組んでいる。	
23	返事、挨拶、反応、手伝いなど、人任せにしていない。	
24	指導されたら、自分のあやまちを素直に認め、反省している。	
25	一度注意をされたら、反省し、正しいことをしようとする意識がある。	
計		合計点
◎4月の生活でよくできたことを書きましょう。		
◎5月に頑張りたいことを書きましょう。		

番号	項目	4月 平均	5月 平均		6月 平均		7月 平均	
1	朝の読書3分前には本を準備し、座ろうとしている。	3.62	3.45	↓	3.55	↑	3.50	↓
2	次の時間の準備をしてから休み時間を過ごしている。	3.66	3.59	↓	3.59	=	3.57	↓
3	1分前の着席をしている。	3.52	3.52	=	3.45	↓	3.50	↑
4	授業中は、「覚えよう」「できるようになろう」と思っている。	3.62	3.66	↑	3.59	↓	3.64	↑
5	授業中は、手を挙げて参加している。	3.03	2.90	↓	2.93	↑	3.00	↓
6	授業中は、おしゃべりをしていない。	3.45	3.45	=	3.31	↓	3.54	↑
7	ノートを丁寧にとっている。	3.34	3.21	↓	3.34	↑	3.36	↑
8	担任が出張時や担任以外の先生の授業でもしっかりした態度をとっている。	3.79	3.76	↓	3.69	↓	3.75	↑
9	すれちがう先生、保護者、お客様に挨拶をしている。	3.52	3.69	↑	3.45	↓	3.68	↑
10	靴箱の入れ方やロッカーの整頓を意識している。	3.62	3.61	↓	3.59	↓	3.68	↑
11	友達をけったり、たたいたりしていない。	3.76	3.76	=	3.79	↑	3.75	↓
12	友達の嫌がること、悪口を言っていない。やっていない。	3.83	3.72	↓	3.21	↓	3.71	↑
13	そうじは黙って行っている。	3.72	3.52	↓	3.59	↑	3.64	↑
14	教室の移動はしゃべらず静かに右側通行をしている。	3.55	3.59	↑	3.38	↓	3.43	↑
15	うそをついていない。ごまかしたりせず、自分の都合の悪いことも正直に言っている。	3.59	3.69	↑	3.62	↓	3.68	↑
16	廊下は走っていない。	3.72	3.62	↓	3.72	↑	3.57	↓
17	友達の注意を正直に聞いている。	3.79	3.76	↓	3.79	↑	3.86	↑
18	進んで学級の手伝いをしている。	3.21	3.31	↑	3.34	↑	3.29	↓
19	歌をしっかり歌っている。	3.31	3.41	↑	3.24	↓	3.43	↑
20	男女問わず普通に接している。	3.52	3.52	=	3.55	↑	3.54	↓
21	誰にでも優しく接している。差別をしていない。	3.83	3.79	↓	3.72	↓	3.75	↑
22	係、当番、委員会の活動は責任をもって取り組んでいる。	3.76	3.86	↑	3.69	↓	3.71	↑
23	返事、挨拶、反応、手伝いなど、人任せにしていない。	3.24	3.41	↑	3.52	↑	3.36	↓
24	指導されたら、自分のあやまちを素直に認め、反省している。	3.72	3.69	↓	3.76	↑	3.75	↓
25	一度注意をされたら、反省し、正しいことをしようとする意識がある。	3.72	3.76	↑	3.69	↓	3.89	↑
	合計	89.45	89.23	↓	88.10	↓	89.57	↑

資料6 サイコロト内容

①
 自分がほめてあげたいこと
 然が自分をほめてあげたいことは、宿題を
 はやく終わらせようとしたことです。
 ぶつこの人が開けたら、前へ事もした
 ませ人が知らして、はてと大変なことに
 います。
 人は集中してきこい人だから、つづき
 ながら宿題をやっている。宿題を終わる
 時間がないこともおそろしく、家族に
 わくをあげています。ていませす。
 できたまに、つづきせすに集中して宿題を
 やく終わらせようとしています。
 そうすれば、私も家族にめいめいかきかす
 人です。いはいです。
 けれど、私は、まがはが集中して、船に
 てはてと大変なことです。長く続けるこ
 とができません。
 人が、まがはが集中して、船に
 いて、長く続けること、大変なことです。
 自分がほめてあげたいこと

373 7-2 2020

②
 わすれと、水に事
 家のわすれ、水に事、二、三、五、五、初め
 てや、た、五、五、五、五、五、初め
 そのと、五、五、五、五、五、初め
 取リ、五、五、五、五、五、初め
 変て、た、た、た、た、た、初め
 だ、た、た、た、た、た、初め
 最、最、最、最、最、最、初め
 に、思、に、思、に、思、に、思、初め
 二、二、二、二、二、二、二、初め
 下、下、下、下、下、下、下、初め
 七、七、七、七、七、七、七、初め
 し、し、し、し、し、し、し、初め
 と、と、と、と、と、と、と、初め
 う、う、う、う、う、う、う、初め
 と、と、と、と、と、と、と、初め
 水、水、水、水、水、水、水、初め

373 7-2 2020

